

■平成29年度の主な事業

分野	事業名	金額 (単位:万円)	事業内容
文化	スマートアグリ推進事業	683 (309)	情報通信技術を活用した効率的な農業経営の推進を図るため、GPS地上基地局設置などの環境整備を行いました。
	宿場町おおはさま400年記念事業	2,958	大迫地域の現在の街並みが形成されてから400年の節目の年を記念し、日本ワインフェスティバルなどのイベントを行いました。
	花巻・遠野広域連携事業	1,126	遠野市との連携による効果的な情報発信や観光ルートの景観保全を行いました。
暮らし	総合花巻病院移転整備支援事業	6,425 (4,925)	市民が安心して必要な医療を受けられるよう、地域医療の中核を担う総合花巻病院の移転整備事業に対する支援を行いました。
	公営住宅等建設事業	3億7,360	東日本大震災の沿岸被災者の住宅を確保するため、花巻地域中心市街地に被災者公営住宅の建設を進めています。
	消防拠点施設等整備事業	6,539	常備消防の災害対応力の充実強化を図るため、経年劣化した消防車両を更新しました。
人	湯口中学校・大迫中学校校舎改築事業	13億1,804 (6億4,789)	安全で快適な教育環境を確保するため、老朽化した湯口・大迫中学校の各校舎を改築しました。
	こども発達相談センター改築事業	9,639	乳幼児の発達の遅れなどを早期に見出し、発達を促すため、老朽化した施設の改築を行いました。
	田瀬湖ポート場環境整備事業	7,667	スポーツ合宿などの誘致による交流人口の拡大を図るため、施設の一部を改修しました。
地域	地域おこし促進事業	3,486	都市部の人材を「地域おこし協力隊」として採用し、各地域で地域活性化のための支援活動に取り組んでもらいました。

※金額のうちカッコ書きの数値は、前年度予算から繰り越された事業費の決算額です

が)増加。投資的経費は、県立花巻厚生病院跡地取得費や、安全で快適な教育環境の確保を目的とした湯口・大迫中学校校舎改築事業などに伴う普通建設事業費の増加で12億5304万円(20.2%)増加しました。その他経費は、市道の除雪経費(6億3946万円)や公共施設の維持補修費などで増加したものの、いわて国体花巻市実行委

員会負担金や宮沢賢治生誕120年記念事業実行委員会負担金などの減少で、17億5217万円(8.3%)減少しました。歳出全体では、今後とも、事業の優先度・緊急度を見極め、限られた財源を効果的に活用しながら、戦略的・重点的な施策展開を図ります。

# 平成29年度 決算・財政状況

## を報告します

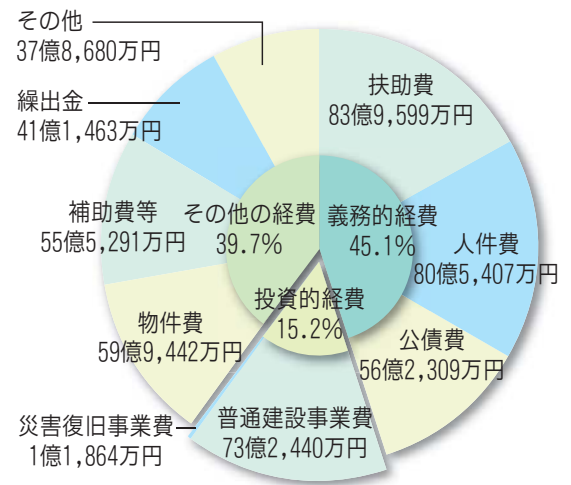
### 一般会計

本市の平成29年度の決算が9月定例議会で認定されました。皆さんの大切な税金をもとに運営されている市政。昨年度はどれくらいの収入があり、どのような目的に使われたのか。決算の概要と財政状況をお知らせします。

平成29年度に一般会計に入ったお金(歳入)は509億2571万円。この中から使ったお金(歳出)は489億6495万円。差し引き額は19億6076万円になりました。

歳入を前年度と比較すると、自主財源の代表的なものである市税は3135万円(0.3%)増加。依存財源の代表的なものである地方交付税は6億5578万円(4.3%)減少しました。歳入全体では、4億1875万円(0.8%)減少しました。

## 歳出 489億6,495万円



【歳出決算額内訳】(※性質別歳出)

項目	29年度 (単位:万円)	構成比	増減率	
義務的経費	扶助費	83億9,599	17.1%	1.9%
	人件費	80億5,407	16.4%	0.8%
	公債費	56億2,309	11.5%	△2.2%
	元金	52億6,304	10.7%	△1.2%
	利子	3億6,005	0.7%	△14.8%
	小計	220億7,315	45.1%	0.5%
投資的経費	普通建設事業費	73億2,440	15.0%	18.3%
	災害復旧事業費	1億1,864	0.2%	皆増
小計	74億4,304	15.2%	20.2%	
その他の経費	物件費	59億9,442	12.2%	2.5%
	補助費等	55億5,291	11.3%	△18.2%
	繰出金	41億1,463	8.4%	0.1%
	積立金	15億2,794	3.1%	△13.4%
	維持補修費	13億7,553	2.8%	31.6%
	投資及び出資貸付金	8億8,333	1.8%	△46.3%
小計	194億4,876	39.7%	△8.3%	
合計	489億6,495	100.0%	△0.8%	

※端数処理の関係で構成比の計は各項目の積み上げと一致していません

※性質別歳出

歳出の分類方法は、目的別と性質別があります。前者は、農林水産業費や教育費など目的ごとに分類したもので、後者は、人件費や普通建設事業費、物件費など性質ごとに分類したものです。

用語解説(歳出関係)

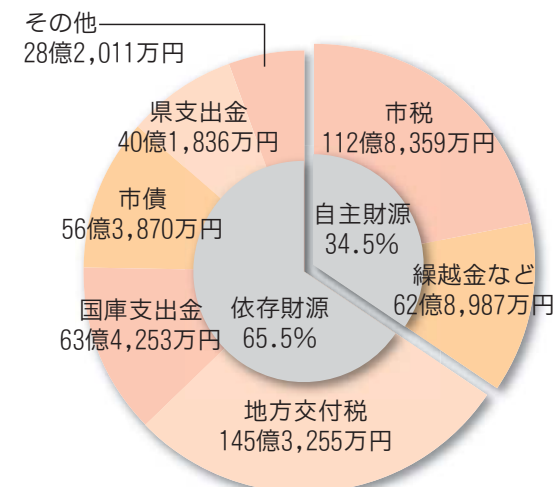
▶義務的経費/人件費など、支出することが制度的に義務付けられている経費▶投資的経費/道路や学校など、将来に残るものに対する経費▶扶助費/社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などへの支援に要する経費▶公債費/過去に借ったお金を返すための経費▶物件費/施設の光熱水費や各種委託料などの経費▶繰出金/一般会計から特別会計へ支出する経費▶補助費等/事務組合や各種公益団体に対する補助金などの経費

## 歳入 509億2,571万円

【歳入決算額内訳】

項目	29年度 (単位:万円)	構成比	増減率	
自主財源	市税	112億8,359	22.2%	0.3%
	繰越金	19億8,021	3.9%	5.4%
	繰入金	14億9,290	2.9%	10.4%
	諸収入	10億1,047	2.0%	△16.3%
	使用料及び手数料	6億7,468	1.3%	△1.7%
	分担金及び負担金	5億1,316	1.0%	△12.3%
	財産収入	4億5,639	0.9%	297.1%
	寄附金	1億6,206	0.3%	△9.4%
	小計	175億7,346	34.5%	1.8%
	地方交付税	145億3,255	28.5%	△4.3%
依存財源	国庫支出金	63億4,253	12.5%	8.1%
	市債	56億3,870	11.1%	△6.9%
	県支出金	40億1,836	7.9%	△7.1%
	地方消費税交付金	17億477	3.3%	6.1%
	地方譲与税	8億4,057	1.7%	△0.2%
	自動車取得税交付金	1億4,271	0.3%	41.8%
	地方特例交付金	4,453	0.1%	15.6%
	株式等譲渡所得割交付金	2,421	0.0%	161.8%
	配当割交付金	2,097	0.0%	26.8%
	利子割交付金	1,490	0.0%	124.2%
交通安全対策特別交付金	1,477	0.0%	△2.0%	
ゴルフ場利用税交付金	1,268	0.0%	△2.0%	
小計	333億5,225	65.5%	△2.2%	
合計	509億2,571	100.0%	△0.8%	

※端数処理の関係で構成比の計は各項目の積み上げと一致していません



用語解説(歳入関係)

▶自主財源・依存財源/市税や施設使用料など、市が自らの収入とすることができる財源が「自主財源」。地方交付税、国庫・県支出金など、国や県から交付される財源と借入金「依存財源」▶地方交付税/市の行政需要と財政力に応じて、国から交付されるお金▶国庫支出金・県支出金/事業の財源として使い道が特定された、国や県から交付されるお金▶市債/事業を行うために、市が国や金融機関から借りるお金